

保護者の皆様

光風台小学校校長 増田 ゆか

### 学校教育自己診断の結果報告について

#### 1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました「令和元年度学校教育自己診断（保護者用）」の集計結果と本校の分析結果を3月初めにお知らせするところ、今般の休校措置で遅くなったことをお詫び申し上げます。なお、自由記述欄に記名でご意見をいただいた方については、必要に応じて校長より個別に連絡をさせていただき、面談等を実施させていただきました。皆様のアンケート協力に感謝申し上げます。

同時に行った児童用・教職員用のアンケート結果については報告いたしません、その分析結果は来年度の学校教育並びに学校運営に生かしていきたいと存じます。

なお本アンケートの結果につきましては、学校協議会に報告し、委員各位のご意見ご提言をいただいております。

#### 2. 光風台小学校「学校教育自己診断」結果について

##### (1) 保護者アンケート回収状況

配布 169枚 (11月末家庭数) 回収 157枚 回収率 92.9%

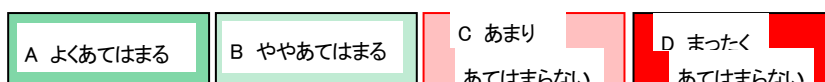
##### (2) 集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。

- ・「肯定的回答」 A：よくあてはまる、B：ややあてはまる
- ・「そうでない」 C：あまりあてはまらない、D：まったくあてはまらない

#### 3. 結果報告

##### (1) 教育活動に関すること

##### ①子どもに関すること



No.	内容	回答数				
		A	B	C	D	
1	子どもは、学校生活が楽しいと言っている。	H29	50	42	9	0
		H30	55	38	6	0
		R1	48	45	6	2
2	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	H29	30	60	9	1
		H30	33	58	9	0
		R1	31	56	12	1
3	子どもは学校の英語活動に興味を持っている。	H29	28	50	17	4
		H30	33	45	18	4
		R1	26	42	26	6
4	子どもは道徳の授業でよく考えていると思う。	H30	24	60	14	0
		R1	27	58	13	0

5	子どもは落ち着いて人の話をしっかり聞くことができる。	H29	30	50	18	2
		H30	27	50	21	3
		R1	25	54	18	3

No.1（学校生活が楽しい）、No.2（授業が分かりやすい）の肯定的評価の割合（A+B）は、90%前後でしたが、「よくあてはまる」の割合はいずれも若干減少しています。ここ3年間「確かな学び」事業の推進教員を中心に授業改善を進めており、振り返り、自主学习ノート、記述式の活用テストの実施などの取組みで活用問題の無解答率が改善しています。また、研究授業は一人の教員の研究で終わらないよう、指導案作成から模擬授業、事前授業まで組織的な授業改善の検証の場としてほぼ全員が参加し、全ての学年で研究授業を実施しました。しかし学校生活の中心である授業が分かりやすいと思えていない児童があることを真摯に受け止めなければなりません。

No.3（英語活動に興味をもっている）の肯定的評価の割合もここ3年減少しており、外国語活動への慣れが課題となっています。今年度は中学校英語科教員、ALTと連携しながら担任が中心に授業を実施し、ICTを活用した授業に取り組んできましたが、今回の結果から、3学期当初に中学校英語科教員、ALTと打ち合わせを行い、実生活の場面の工夫やクイズなど指導方法の工夫について検討しながら進めているところです。

No.4（道徳の授業でよく考えている）は、昨年度からの項目で、肯定的評価の割合は85%でした。議論する場面を取り入れるなど、子どもが学びの実感を得られるような実践例の収集を行い、改善をめざします。

No.5（落ち着いて話をしっかり聞くことができる）は今年度の肯定的評価の割合は79%で昨年度と同程度ですが、教職員は学習規律の定着が不十分だと感じており、低・中・高学年部会でそれぞれ取り組めることを考え、チームで動くようにしているところです。

保護者・地域の方には、学校公開などで普段の学習の様子について参観していただく機会を設定しておりますが、参観以外でも授業見学に来ていただけますので、どうぞ気軽におこしください。保護者の方々の協力もいただきながら、楽しい学校になるよう取り組みを進めていきたいです。

## ②教職員に関すること

6	先生は、子どものことについて相談にのってくれる。	H29	41	49	9	1
		H30	41	54	4	0
		R1	40	52	7	1
7	先生は、子どもを理解してくれている。	H29	37	53	9	1
		H30	41	52	7	0
		R1	38	52	8	2

いじめ事象が複雑化し、見えにくくなっている昨今、教職員との信頼関係は特に重要と言えます。No.6（先生は相談にのってくれる）、No.7（先生は、子どもを理解してくれている）は、いずれも肯定的評価の割合が90%以上でした。児童からよく聞く言葉の一つに「不公平」「平等じゃない」があります。公平に接しているつもりでも、一度の誤解が信頼を失うきっかけになることがあります。担任以外の教職員もさまざまに子どもに関わり、情報を共有しあうなど、チームで教育にあたるよう、今後も体制を工夫したいと考えています。

③保護者・地域との連携

11	地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる。	H29	44	53	0
		H30	48	47	5
		R1	40	55	5
12	学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている。	H29	22	68	10
		H30	31	64	5
		R1	26	63	10
14	学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	H29	43	55	0
		H30	46	51	0
		R1	43	55	2

少子化と高齢化の課題はありますが、今年も90名近いサポート・ボランティアさんの登録があるのは、光風台小の強みの一つです。No.11（地域の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる）は、本年度も肯定的評価の割合が95%と高い評価でした。仕事でなかなか平日のボランティアができないと気にしてくださる保護者もいらっしゃいますが、地域に開かれた学校をめざし、今後も保護者・地域の皆様のお力をお借りしながら、ご協力いただく方々にとっても楽しい教育活動を推進していきたいと思えます。

No.12（学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている）の肯定的評価の割合は、89%で昨年度より若干減少しました。登校班の問題など課題もありますが、PTA運営委員会や学校協議会で積極的に議論し、いただいたご意見を学校運営に反映させていきたいと考えます。

No.14（学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている）は、本年度98%が肯定的な評価でした。土曜参観や学校公開など、参観しやすい設定を今後も検討しながら進めてまいります。

(2) 学校経営に関すること

①学校の環境ならびに情報発信について

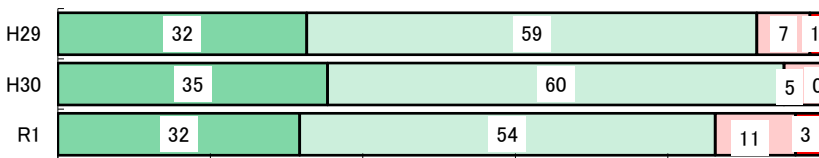
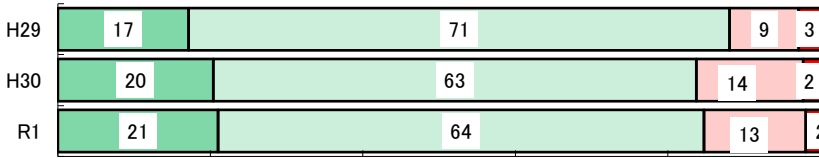
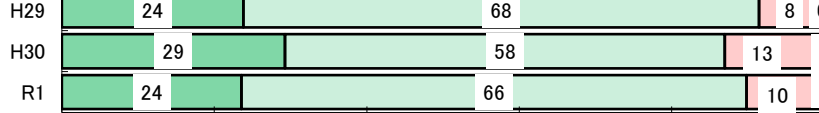
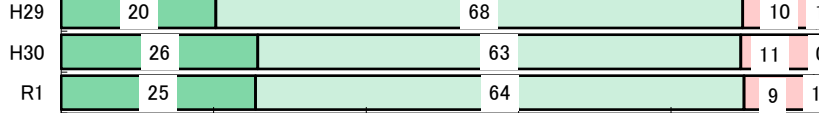
15	学校は地震や台風など緊急の場合、適切に対応している。	H29	25	59	13	3
		H30	39	53	8	0
		R1	39	58	3	1
16	学校の施設・設備は学習環境・生活環境面で満足できる。	H29	10	48	35	7
		H30	8	38	40	14
		R1	12	48	30	9
17	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	H29	23	65	11	0
		H30	27	65	6	1
		R1	29	63	6	1
18	学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・ホームページ等、学校の情報を積極的に伝えている。	H29	34	57	8	2
		H30	39	55	5	1
		R1	33	57	7	3

No.15（緊急の場合の対応について適切に対応している）は、肯定的評価の割合が97%とここ3年で増加しました。昨年度の保護者による引渡し訓練から見てきた課題や警報発令時の対応などについていただいたご意見をもとに訓練の時期や警報発令時の班長の動きなどの検討に努めたことを評価いただきました。不測の事態に備え、校内の避難経路など課題解決に向け今後も検討していきます。

No.17（保護者に出す文書・事務連絡等は適切である）、No.18（学校の情報を積極的に伝えている）は本年度いずれも90%を越えましたが、準備物などで、低学年やはじめてのお子様のご家庭にとって分かりにくい文書があるなど指摘をいただきました。学年・学級だよりを通じて準備物などの連絡をこまめにおこない、緊急メールも活用して分かりやすく確実に伝えるよう努めたいと思います。

No.16（施設・設備は満足できる）は年々肯定的評価の割合が減少しており、もっとも評価の低い項目です。8つの教室にクーラーが設置されたものの、洗面所の水漏れ、トイレの破損など、築40年を経過した施設の老朽化と経年劣化についてのご意見を多くいただきました。特に学校再編にからめた施設についてのご意見もありました。施設改善には予算等が伴うため、早期の改善が困難ですが、学校でできる補修は学校でしながら、優先順位を考えて対応していきたいと思います。

## ②教育内容に関すること

<p><b>8</b> 少人数授業・コース別授業・交換授業等、指導の方法を工夫している。※3年生以上の保護者が回答</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>32</td> <td>59</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>35</td> <td>60</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H29	32	59	7	1	H30	35	60	5	0	R1	32	54	11	3
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																	
H29	32	59	7	1																	
H30	35	60	5	0																	
R1	32	54	11	3																	
<p><b>9</b> 通知表は、子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>17</td> <td>71</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>20</td> <td>63</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>21</td> <td>64</td> <td>13</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H29	17	71	9	3	H30	20	63	14	2	R1	21	64	13	2
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																	
H29	17	71	9	3																	
H30	20	63	14	2																	
R1	21	64	13	2																	
<p><b>10</b> 学校では教育活動を通して心の教育(人権教育)が尊重されている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>24</td> <td>68</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29</td> <td>58</td> <td>13</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>24</td> <td>66</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H29	24	68	8	0	H30	29	58	13	0	R1	24	66	10	1
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																	
H29	24	68	8	0																	
H30	29	58	13	0																	
R1	24	66	10	1																	
<p><b>13</b> 学校はいじめ防止・体罰のない学校づくりの取り組みを推進している。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Yes</th> <th>Somewhat</th> <th>No</th> <th>Don't know</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>20</td> <td>68</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>26</td> <td>63</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>25</td> <td>64</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Year	Yes	Somewhat	No	Don't know	H29	20	68	10	1	H30	26	63	11	0	R1	25	64	9	1
Year	Yes	Somewhat	No	Don't know																	
H29	20	68	10	1																	
H30	26	63	11	0																	
R1	25	64	9	1																	

No.8（指導の方法を工夫している）は、今年度86%で、肯定的評価の割合は減少しています。今年度も3～6年生で、国語・算数・理科などで少人数授業や複数教員による授業、コース別、課題別授業を実施してきました。また教員がそれぞれ得意な科目を交換したり、異学年の交流も兼ねた授業をしたりするなど、意欲的に取り組める工夫を実施しました。今回の結果を受け止め、児童にとって魅力的な学習課題や子どもの学習に向かう力を引き出すための工夫に努めていきたいと考えています。

No.9（通知表は子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている）は、本年度の肯定的評価は昨年度と同程度の85%でした。校務支援システムを導入し、電子化をしましたが内容に大きな変更はありません

でした。次年度は新学習指導要領になり、町である程度、内容の統一を図るべく、検討がすすめられているところ  
です。児童や保護者の方に分かりやすく伝える通知表をめざし、本校でも検討を続けていきます。

No.10（教育活動を通して心の教育が尊重されている）は、No.13（学校はいじめ防止等の取り組みを推進している）  
は昨年同様、本年度も90%程度の肯定的評価をいただきましたが、いじめの取り組みが不十分だとの評価が10%  
あるということでもあります。全学級で毎学期いじめアンケートを実施していますが、そこに書かれない場合もある  
ので、独自にアンケートを作成し、「クラスの健康診断」をした学級もありました。子どもの表情や態度の変化を  
見逃さず、保護者との連携を深め、場合によってはケース会議を積極的に持って、早期に対処することを今後も心  
がけていきたいと思えます。

### （3） 家庭に関すること

19	家庭では、子どもに基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が つづくように努めている。	H29	39	54	8	0
		H30	38	55	7	0
		R1	41	53	6	0
20	家庭では毎日あいさつや言葉遣い など礼儀について子どもと話す機 会を持っている。 * 下線部、H29年度は 「毎日あいさつを交わしている」	H29	68	30	0	0
		H30	35	54	11	0
		R1	33	63	5	0
21	家庭では学校のことについて子 どもと話す時間をもっている。	H29	47	48	4	1
		H30	40	56	4	0
		R1	43	54	3	0

No.19～21 の家庭教育に関わる項目はいずれも肯定的評価の割合が昨年同様高い結果でした。言葉遣いや礼儀が気  
になり、内容を変えたNo.20（家庭では毎日あいさつや言葉遣いなど礼儀について子どもと話す機会を持っている）  
の結果が高かったことから、学校だけでなくご家庭でも意識的に声をかけていただいていることが分かりました。学  
校でも学年だけでなく、異年齢の子ども、教職員、サポート・ボランティアさん、地域の人々へと活動の場を広げ、  
徐々に社会性を育てていく中で身に付けさせています。今後も引き続き、意識的にお子様と話す時間を作ってい  
ただき、喜びや困り感を共有しながら、あたたかく見守っていただきますようお願いいたします。

## 4 おわりに

今年度の結果は、昨年度とあまり変わらず、学校としての取り組みが、一定、地域・保護者の皆様方に認め  
ていただけている証左と考えますが、「よくあてはまる」と回答いただけた割合が少ない項目についてはまだ  
まだ不十分です。特に学習面での外国語の指導、学校経営の面では、環境設備についての課題が残りました。

学校のグランドデザインを教職員全員で再度見直し、積み残した課題を解決するための方途を共に考えて  
次年度にのぞみたいと思えます。特に次年度は新学習指導要領に沿った新教科書で教科を横断した学びの課  
程を作り上げる大事な年であると考えています。保護者の方をはじめ、地元愛あふれる人々が支えてくださ  
っている光風台小の良さを継承していけるよう、さまざまな関係機関と連携しながら取り組みを進めていきま  
す。診断項目へのアンケート、また、たくさんの貴重なご意見をいただいたことに感謝申し上げますと共に、  
今度もどうぞ忌憚ないご意見をお寄せくださいますよう今後ともどうかよろしくお願ひいたします。